

日本版包装前面栄養表示の様式②

消費者庁食品表示課
2024（令和6）年12月

日本版包装前面栄養表示の様式案の要件

- ① 様式案は、枠囲みなどパッケージ上の他の表示と区別するための工夫がなされていること。
- ② 様式案は、白黒など単色（モノトーンは可）でデザインされていること。
- ③ 様式案には、必ずエネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量の文字を含め、かつ含有量を表示するスペースが確保されていること。
- ④ 様式案には、栄養素等表示基準値に占める割合を表示するスペースが確保されていること。

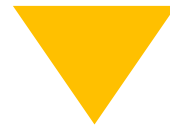
様式案のデザインに際しての考え方

消費者からの要望イメージ：

栄養に関する情報は大きく、見やすくしてほしい。

食品関連事業者からの要望イメージ：

包装前面で製品特性を伝えたいため、栄養に関する情報は製品特性やコンセプトの邪魔にならないようにしたい。



スペース効率を高めつつ、機能的なデザインが必要ではないか。



日本版包装前面栄養表示の様式案に求められるもの

- ①視認性を高めること（罫線で囲む等情報の識別化）
- ②可読性を高めること（読みやすい書体の選択）
- ③記載数値が何かを伝えること（補足する情報）

様式案（原型）について（1）

(A)

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
92kcal	3.5g	1.4g	16.5g	2.6g
4%	6%	2%	5%	35%

1食分(1袋)当たり %は、栄養素等表示基準値に占める割合

(B)

92kcal エネルギー	3.5g たんぱく質	1.4g 脂質	16.5g 炭水化物	2.6g 食塩相当量
4%	6%	3%	5%	35%

1食分(1袋)当たり %は、栄養素等表示基準値に占める割合

(C)

92kcal エネルギー	3.5g たんぱく質	1.4g 脂質	16.5g 炭水化物	2.6g 食塩相当量
4%	6%	3%	5%	35%

1食分(1袋)当たり %は、栄養素等表示基準値に占める割合

(D)

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
92kcal	3.5g	1.4g	16.5g	2.6g
4%	6%	3%	5%	35%

1食分(1袋)当たり %は、栄養素等表示基準値に占める割合

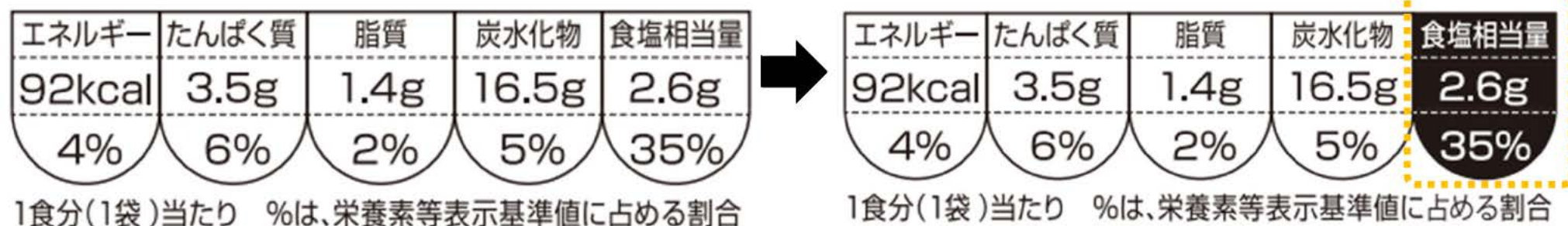
(E)

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食塩相当量
92kcal	3.5g	1.4g	16.5g	2.6g
4%	6%	3%	5%	35%

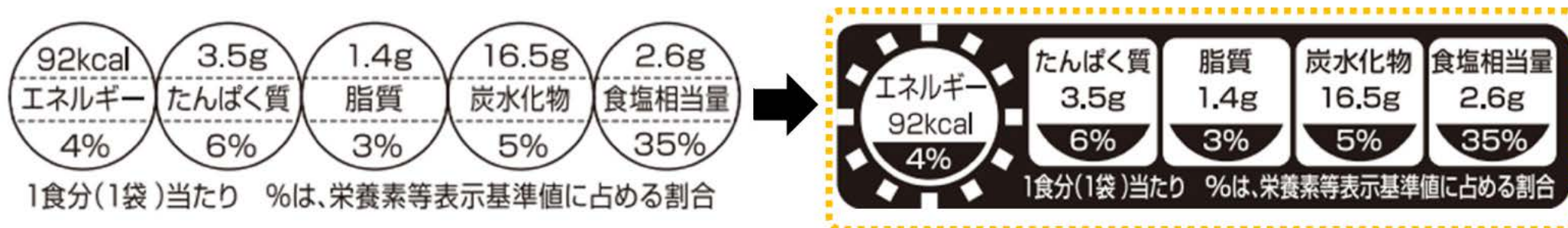
1食分(1袋)当たり %は、栄養素等表示基準値に占める割合

様式案（原型）について（2）

- 原型から特定の栄養成分を反転したデザインの様式案



- 原型の組合せ及び罫線を加除したデザインの様式案



日本版包装前面栄養表示の様式案の検討

- ① 特定の栄養成分について、デザインを変える必要性はあるか。
- ② 上記を検討した上で、5つの様式案（原型）のうち残すべきもの（最大3つまで）はどれか。
- ③ そのほかに修正や配慮すべき点は何か。

特定の栄養成分のデザインを変える必要性

熱量及びエネルギー産生栄養素であるたんぱく質、脂質、炭水化物の量は、消費者の適正な体重の維持に資する情報として、また、**食塩相当量は、食塩摂取量の減少に資する情報**として、健康日本 21（第三次）の栄養・食生活の目標にも関連するものである。

（「我が国における包装前面栄養表示の検討の方向性」から抜粋）

- 情報の目的が異なるため、「消費者の適正な体重の維持に資する情報である熱量、たんぱく質、脂質及び炭水化物」と、「食塩摂取量の減少に資する情報である食塩相当量」でデザインを使い分けてはどうか。
- ただし、すべての栄養成分等の量は、健康・栄養政策と関連するものであり、健康・栄養政策上の優劣はないため、いずれかが過度に強調されることがないように、白黒反転ではなく、原型を使い分けたデザインにしてはどうか。